

令和 3 年度
公益財団法人 新日本宗教団体連合会
事業報告書

自 令和 3 年 4 月 1 日
至 令和 4 年 3 月 31 日

目 次

◆概況	1
◆公益事業	1
◆管理部門	6
◆総支部	11
・北海道	11
・奥 羽	11
・東 北	12
・北関東	12
・首都圏	12
・北 陸	14
・中 部	14
・近 畿	14
・中 国	15
・四 国	16
・九 州	16

公益財団法人 新日本宗教団体連合会

令和3年度事業報告

概況

令和3(2021)年10月17日、新宗連は結成70周年の節目を迎えた。新型コロナウイルス(COVID-19)という未知の感染症に遭遇している今だからこそ、宗教の役割が求められており、宗教者がこの状況にどう立ち向かうかが重要になっていた。

この様な時にあたり、あらためて新宗連の原点と歴史をふりかえるとともに、「信教の自由を守ろう」「信仰心を広めよう」「宗教協力を進めよう」「世界の平和に貢献しよう」という4つのスローガンの意義をかみしめ、新宗連に参画する一人ひとりが自覚、実践した。そして新宗連の礎を築き、善導に尽力した先師先達の意味を継ぎ、『定款』に掲げる「目的」「事業」の遂行に務めた。

○定款 第3条 目的

「この法人は、信教の自由の精神を高揚し、宗教団体の公益性を支援することにより、豊かな人間性の涵養とより良い社会の形成に寄与し、もって世界平和の実現に貢献する」

○定款 第4条 事業

「信教の自由の尊重及び擁護、宗教団体の宗教活動の推進、宗教団体相互の協力による、より良い社会形成の推進」

【重点課題】

- (1) 基本的人権の根幹である「信教の自由」を堅持していくため、あらためてその意義を学び、自覚を深めた。
- (2) 一人ひとりが「信仰心」の醸成に努めることにより、信仰の尊さを広め、宗教心と信仰心が尊重される社会づくりに貢献した。
- (3) 「すべての命を尊ぶ世界」－「世界平和」という共通の目標に向かい、加盟教団が相互に協力、啓発して、社会浄化に努め、「宗教協力」の理念を強化した。
- (4) 緊迫する国際情勢や地球環境問題を注視し、新宗連として貢献できる具体的活動について研究を進めた。
- (5) 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響により求められている新しい生活様式と、宗教者、宗教団体の役割を探求した。

公益事業

宗教団体が公益活動を自由かつ円滑に行えるよう、信教の自由の尊重と擁護、宗教団体個々の利益を超えた青少年の健全な育成及び豊かな人間性の涵養、不当な差別又は偏見の防止等を通して、より良い社会形成の推進に関する調査研究及び普及啓発活動を行った。

特に本年は、結成70年を迎えた新宗連のあゆみをふりかえる(内省する)とともに、これからの新宗連の役割を探求した。

◆講座及びセミナー等の開催

(1) 第33回教団人セミナー

日	程	令和4年3月17日
会	場	オンライン
テ	マ	新宗連の今後の活動について
講	師	武藤亮飛／新宗連事務局員
内	容	新宗連が70周年の節目を迎えるにあたり、結成当時と現在では社会状況も異なり、新型コロナ禍の中、社会や加盟教団から求められるものも変わっている。

今回は新宗連が宗教間対話組織として、これまで展開してきた活動を主に四つ(①社会貢献[ボランティアや平和活動・社会運動]、②儀礼[平和祈願や慰霊]、③求道[教団間の交流や教義的対話]、④相互扶助[宗教活動・宗教法人運営のサポート])に整理した上で、今後の新宗連の立ち位置、目指すべき方向性を考え、新宗連に求めるものを共有する機会とした。

参加人数 35人

(2) 第83回拡大宗法研

日 程 令和4年2月25日

会 場 オンライン

テ マ 「社会のオンライン化への流れに対して、それぞれの信仰のあり方について考えるーキャッシュレス問題を手がかりに」

発 題 者 宗教法人研究会幹事と新宗連事務局

内 容 新型コロナウイルス禍において、さまざまな宗教儀式・集会のオンライン化が模索されている。技術の進歩と宗教者の創意工夫、努力によって、一定の成果があった。しかし、これまで儀式、集会の機会は、布施のきっかけになっており、それが法人運営を財政的に支えていたが、布施のキャッシュレス・オンライン化は、さまざまな制約もあり、困難を抱えている。今回、加盟教団の事例と、事務局からの話題提供に基づき、ともに考える機会とした。

◆機関紙・インターネット等による広報

(1) 「新宗教新聞」の発行(年6回)

(令和3年度、第1面の主な記事)

4月号 東日本大震災から10年

6月号 第31期第4回理事会を開催

8月号 第56回「戦争犠牲者慰霊並びに平和祈願式典(8.14式典)」

10月号 新宗連結成70周年式典を開催

新年号 理事長年頭所感「未来へ向けさらなる歩みを」

2月号 第31期第6回理事会を開催

(2) 新宗連ホームページの定期更新

(3) 新宗教新聞WEB版「Headline」の定期更新

◆地域に根ざしたより良い社会の形成に向けた活動

新型コロナ禍により活動が制限される中、自粛により活動を休止した総支部、協議会もあったが、規模の縮小やオンラインを活用し、より良い社会の形成に向け対応した。

※詳細はP.11～P.17を参照。

◆青少年育成に関する活動

青少年の健全育成、信仰心の醸成を目的とし、新日本宗教青年会連盟(新宗連青年会)を通して、「8.14式典」「ユースフォーラム」「青少年育成セミナー」等の各種事業を実施した。

(1) 第56回「戦争犠牲者慰霊並びに平和祈願式典(8.14式典)」

※新日本宗教青年会関東連盟を中心に運営

日 程 令和3年8月14日

会 場 国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑(東京都千代田区)

式 次 第 主 催 者 あいさつ: 宮本泰克/新宗連青年会委員長

新宗連代表あいさつ: 岡田光央/新宗連理事長

教団別礼拝(首都圏在住の加盟教団青年と教団代表者)

平和へのメッセージ: 加盟教団青年代表者

平和の祈り

参列者 約 50 人

※ライブ配信を通しての参加を呼びかけ、2,000 人以上が視聴・参加した。

(2) ユースフォーラム 2021

日 程 令和 3 年 6 月 27 日

会 場 オンライン

メインテーマ I'm possible ～人さまにお伝えできる～

講演テーマ 自ら作る共生社会～みんなが生きやすい環境を目指し～

講 師 杉内周作／2004 年アテネパラリンピック銅メダリスト

内 容 杉内氏の体験やパラスポーツ一般についての講演を聞き、共生社会について学んだ後、宗教青年として、私たちに何ができるのか、それぞれ考え、議論を深めた。

参加者 約 90 人

(3) 第 10 回青少年育成セミナー

日 程 令和 3 年 11 月 7 日

会 場 オンライン

テ ー マ 国民皆信仰～真の平和を生み出す青年リーダーの育成

内 容 新宗連青年会結成 60 周年記念事業の一環として、改めて互いに学び合うことを目的に、参加者がそれぞれ各教団と青年部活動について紹介した。また事務局が、これまで 10 年の青少年育成セミナーの振り返りを行った。

参加者 約 20 人

(4) アジア青年平和使節団平和学習会

日 程 令和 4 年 2 月 19 日

会 場 オンライン

テ ー マ アジア青年平和使節団の歴史とこれから

内 容 第 1 回アジア青年平和使節団を記録したドキュメンタリー映画『アジア懺悔行』の視聴と事務局の解説の後、小グループに分かれて振り返りを行い、今後の新宗連青年会活動について議論した。

参加者 約 30 人

※令和 3 年度は、青年（慰霊）平和使節団として、第 10 回沖繩慰霊平和使節団を派遣予定であったが、新型コロナウイルスの感染状況に鑑み中止した。

(5) 各種会合の開催

○委員会（4 月 18 日、6 月 14 日、8 月 13 日、11 月 6 日、令和 4 年 1 月 18 日）

※うち 4 月と 11 月は拡大委員会として全国 11 連盟の代表者が出席した。

(6) 地方連盟・県（地区）委員会の活動

※以下、新宗連青年会の各種会議・行事への参加や、総支部・協議会への参加については省略。

○北海道連盟

・ユースフォーラム 2023 受け入れについての情報交換（随時）

○奥羽連盟

・役員総会（6 月 6 日／16 人 オンライン）

・事業計画会議（令和 4 年 3 月 7 日／4 人 オンライン）

○東北連盟

・ユースフォーラム 2022 準備会議（4 月 25 日、9 月 19 日、10 月 24 日、10 月 31 日、12 月 19 日、令和 4 年 1 月 16 日、2 月 20 日、3 月 20 日）

※会議はオンライン中心。現地視察、業者打ち合わせ等を一部対面で実施

○北関東連盟

・リモート会議（12 月 5 日／8 人 オンライン）

○関東連盟

・セミナー（令和 4 年 2 月 26 日／約 80 人 オンライン）

テーマ：東日本大震災を忘れない 防災セミナー—やってみようプチプラ防災

講 師：辻 直美／国際災害レスキューナース

内 容：東日本大震災の風化を防ぐための意識向上をねらい、身近で安価でできる防災について学んだ。

- ・委員会（5月6日、11月29日、12月23日、令和4年3月14日）
※いずれもオンライン
- ・第56回「8.14式典」の運営協力（8月14日 千鳥ヶ淵戦没者墓苑）
※実行委員会の開催（5月24日、6月15日、7月20日、7月26日）

○北陸連盟

- ・ユースフォーラム 2021 の諸調整

○中部連盟

- ・新宗連青年会 60周年記念学習会（4月25日／18人 オンライン）
講 師：橋本浩志／新宗連青年会前事務局長
内 容：新宗連青年会 60年の歩みを学び、先達の価値観や信念に触れ、今後の新宗連活動や各人の生き方について議論した。
- ・ピースフォーラム 2021 in 静岡（9月5日／35人、10月16日／38人）
※いずれもオンライン
テーマ：ワタシ×SDGs～今、私ができること～
講 師：三浦克仁／新宗連静岡県委員会委員
内 容：世界が直面している環境、貧困などの様々な課題について学び、それぞれが日常でできる取り組みなどを考えた。
- ・常任委員会（4月4日、6月6日、10月31日、11月28日、令和4年2月6日）
※いずれもオンライン

<包括県委員会>

○静岡県委員会

- ・会議（4月24日／7人、5月22日／5人、6月5日／7人、7月6日／8人、
7月11日／7人、8月21日／7人、8月31日／7人、9月25日／7人、
10月9日／7人、11月10日／7人、令和4年2月12日／7人、
3月12日／7人）※いずれもオンライン
- ・オンライン懇談会（令和4年2月5日／7人）
「各自の近況報告と今後の青年会活動について」

○近畿連盟

活動なし

○中国連盟

- ・会議（6月20日／8人、令和4年3月27日／5人）※いずれもオンライン

○四国連盟

活動なし

○九州連盟

- ・青九連ユースフォーラム 2021 in 筑豊（9月19日／82人 オンライン）
テーマ：SDGsを自分事に～私たちに何ができるか～
講 師：庄田清人
内 容：信仰者として時代に合わせた社会貢献を実践することで世界平和を実現することを目指し、SDGsの17の目標について学び、それぞれが実践したいことを選んで、議論した。
- ・常任委員会（4月25日／12人、7月4日／13人、8月29日／10人、
11月14日／11人、令和4年2月20日／13人）※いずれもオンライン
- ・第49回原爆殉難者慰霊祭への参加（8月8日 長崎原爆落下中心地公園）
※長崎県宗教者懇話会主催

◆調査研究活動

(1) 専門委員会による調査研究

「信教の自由」、宗教法人の社会的役割等に関する情報収集と提言案作成を目的とし、下記の通り専門委員会による調査研究を実施した。

○信教の自由委員会

「信教の自由」と政教分離に関する調査研究と情報収集を行った。また7月27日、自由民主党の小野寺五典自民党組織運動本部長、自由民主党社会教育・宗教関係団体委員会の中谷真一委員長、山田賢司副委員長、菅家一郎副委員長、立憲民主党の福山哲郎幹事長、白眞勲企業・団体交流委員会委員長代理に対し、鈴木裕治委員長名で菅義偉首相宛の「靖国神社の政治利用に対する意見書」を提出した。

委員会（5月26日、7月12日、11月4日、令和4年2月18日）※いずれもオンライン

※7月12日に生田茂夫前新宗連事務局次長を講師に招き、「新宗連における『信教の自由』について～新宗連史における「信教の自由」の捉え方の変遷と、時代ごとの行動と課題」をテーマに学習会を開催した。

○企画委員会

宗教法人が直面する諸問題に関する調査研究と情報収集を行った。「第33回教団人セミナー」の詳細について企画立案した。

委員会（4月16日、7月9日、11月25日、12月10日）※いずれもオンライン

○会計委員会

公益法人及び宗教法人会計に関する調査研究を行った。理事会の要請により、令和2年度決算書案および令和3年度予算原案を作成するとともに、新宗連全体の運営に関わる資産管理を行った。

委員会（5月24日、9月7日、11月10日、令和4年1月24日）※いずれもオンライン

○政治委員会

宗教団体が直面する政治課題についての調査研究と情報収集を行った。

委員会（7月9日、11月10日、令和4年1月11日）※いずれもオンライン

○宗教法人研究会

宗教法人と公益性、宗教法人税制、労働法制等について調査研究を行うとともに、参加対象を加盟教団全体に広げ、拡大宗法研学習会を、令和4年2月25日に開催した。

幹事会（6月16日、9月17日、11月29日、令和4年2月25日）※いずれもオンライン

○同和推進連絡協議会

不当な差別又は偏見の防止及び根絶を目的とした同和問題、人権問題について調査研究を行った。また、対外活動として、部落解放・人権研究所、大阪希望館、「支縁のまちネットワーク」等への支援、協力活動、『同和問題』に取り組む宗教教団連帯会議（「同宗連」）、同和問題にとりくむ大阪宗教者連絡会議（大宗連）等の活動への参加と協賛を行った。

定例協議会（令和4年1月31日 書面表決）

○憲法研究会

「信教の自由」、政教分離原則に抵触する諸問題を中心に憲法改正の動向について調査研究を行った。

研究会（7月9日、11月10日、令和4年1月11日）※いずれもオンライン

※各回とも政治委員会と合同で行った。

(2) 関係団体をとおしての調査研究

この法人の目的達成及び各加盟団体の適正な運営に資する各種情報収集を行い、理事会、評議員会、各種専門委員会への情報提供を行った。

〈*主な関係団体〉

国際宗教研究所、宗教情報リサーチセンター（RIRC）、現代における宗教の役割研究会（コルモス）、日本宗教学会、宗教倫理学会、宗教法学会、「宗教と社会」学会、教団附置研究所懇話会、政教分離の会、国際ビフレンダーズ東京自殺防止センター、部落解放・人権研究所、『同和問題』にとりくむ宗教教団連帯会議（「同宗連」）、同和問題にとりくむ大阪宗教者連絡会議（大宗連）、支縁のまちネットワーク、大阪希望館、聖マーガレット生涯教育研究所

(SMILE)、大阪人権博物館リバティセンター、宗教者災害支援連絡会（宗援連）

◆「宗教もしもし電話相談室」活動

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動を自粛

◆宗教相互の理解と対話の促進

宗教文化の発展とより良い社会の形成を目的とし、各加盟団体間、及び神道・仏教・キリスト教・教派神道・新宗教教団等との相互理解を進め、戦争犠牲者の慰霊をはじめ「国際救援金」による国内外の援助活動など、宗教相互の理解と対話を促進する活動を実施した。

(1) 日本宗教連盟への参画

「信教の自由」の尊重と擁護並びにより良い社会形成の推進をはかるため、日本宗教連盟の構成団体として、同連盟の会合及び事業に参画した。

① 理事会（5月19日、6月17日、令和4年3月3日）※いずれもオンライン開催

② 評議員会（決議があったとみなされた日6月16日）※みなし決議

(2) 世界宗教者平和会議（WCRP）との連携

理事会、学習会（オンライン）等へ参加し、交流や連携を深めた。

(3) 新宗連国際救援金の運用と活用

今年度の運用および活用はなかった。

(4) その他、都府県宗教連盟、宗教懇話会等へ参加した。

◆結成70周年記念事業

令和3年度から実施する、結成70周年記念事業の企画をする会議、記念式典を下記の通り開催した。

(1) 結成70周年特別委員会

（5月20日、6月23日、7月19日、8月30日、9月30日、11月11日、

令和4年1月25日、2月28日、3月29日）※いずれもオンライン

(2) 新宗連結成70周年記念式典

日 程 令和3年10月17日（日）

会 場 YouTube ライブ配信（加盟教団限定配信）

テ ー マ 今、そして未来につなぐ信仰の力と光

内 容 新宗連が70周年の節目を迎えるにあたり、歴代理事長、副理事長（深田充啓第4代理事長、庭野日鏡第5代理事長、新井三知夫元副理事長、保積秀胤第7代理事長）が祝辞で感慨と思い出、そして期待を語り（録画配信）、岡田光央理事長は式辞で70年の歴史を振り返り、共に信仰心を広める実践活動に挺身していく決意を表明した。

管理部門

1. 理事会

○第31期第4回（6月9日 オンライン）

・令和2年度新宗連事業報告、決算報告について、承認した。

・結成70周年記念式典開催概要（案）について、承認した。

○第31期第5回（10月8日 オンライン）

・令和4年度事業大綱について審議し、承認した。

・収支予算の執行に関する内規案、給与規程の改定、資産運用方針案について審議し、承認した。

・第26回参議院議員選挙に向け、加盟教団信徒、会員に向け政治に対する関心を持つ取り組みについて審議し、承認した。

○第 31 期第 6 回（令和 4 年 2 月 10 日 オンライン）

- ・令和 4 年度事業計画案・予算案を審議し、承認した。
- ・新宗連加盟教団推奨候補制度概要案について審議し、承認した。
- ・総支部協議会新運営ガイドライン案について審議し、承認した。
- ・宗教法人審議会委員の推薦について協議し、承認した。
- ・定時評議員会を令和 4 年 6 月 27 日に開催することについて協議し、承認した。
- ・理事会意見交換会における具体的提案の取り扱いについて、委員会・機関に諮問していくことについて協議し、承認した。

2. 評議員会

○第 31 期第 2 回（12 月 20 日 書面表決）

- ・澤田章好評議員の辞任に伴い、和田めぐみ氏を評議員に選任することについて、承認した。
- ・澤田章好評議員の辞任に伴い、和田めぐみ氏を役員等候補選考委員に選任することについて、承認した。

3. 監査会

○令和 3 年度監査会（5 月 25 日 東京都渋谷区／新宗連会館）

- ・令和 2 年度新宗連事業報告等並びに計算書類及びその附属明細書並びに財産目録に関する監査を行った。

役員等に関する事項

(令和4年3月31日現在)

役職名	氏名	就任年月日	常勤・非常勤の区分
名誉会長	深田 充啓	R2.8.28	非常勤
顧問	庭野 日鑑	R2.8.28	〃
同	新井三知夫	R2.8.28	〃
同	保積 秀信	R2.8.28	〃
理事長	岡田 泰六	R2.8.28	〃
常務理事	宮本 恵司	R2.8.28	〃
同	江口 陽一	R2.8.28	〃
同	石倉 寿一	R2.8.28	〃
同	國富 敬二	R2.8.28	〃
理事	田澤 清喜	R2.8.15	〃
同	新井 光興	R2.8.15	〃
同	嘉納 良樹	R2.8.15	〃
同	本山 一博	R2.8.15	〃
同	鉢呂 神龍	R2.8.15	〃
同	田中 庸仁	R2.8.15	〃
同	力久 道臣	R2.8.15	〃
同	飯島 法道	R2.8.15	〃
同	深田 恵子	R2.8.15	〃
同	岡野 英夫	R2.8.15	〃
同	庭野 光代	R2.8.15	〃
同	出居 徳久	R2.8.15	〃
同	北浦 幸代	R2.8.15	〃
同	藤原 裕康	R2.8.15	〃
同	佐々木孝則	R2.8.15	〃
同	中村 史郎	R2.8.15	〃
同	須田 正幸	R2.8.15	〃
同	平松 千明	R2.8.15	〃
監事	番重 賢嘉	R2.8.15	〃
同	御木 縛	R2.8.15	〃

評議員	石川 靖夫	R2.8.15	非常勤
同	眞塩陽一郎	R2.8.15	〃
同	加納 理孝	R2.8.15	〃
同	保積 敬子	R2.8.15	〃
同	齋藤賢一郎	R2.8.15	〃
同	高橋 秀典	R2.8.15	〃
同	榊原 隆三	R2.8.15	〃
同	左藤 滋光	R2.8.15	〃
同	宮坂 保徳	R2.8.15	〃
同	木村 吉宏	R2.8.15	〃
同	仙波 達治	R2.8.15	〃
同	藤井 庸佐	R2.8.15	〃
同	山田 宣和	R2.8.15	〃
同	内島 康親	R2.8.15	〃
同	熊川 知長	R2.8.15	〃
同	和田めぐみ	R3.12.20	〃

令和 3 年度事業報告の附属明細書について

令和 3 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため作成しない。

北海道総支部 事業報告書

I. 事業方針

令和3(2021)年10月17日、新宗連は結成70周年の節目を迎えた。新型コロナウイルス(COVID-19)という未知の感染症に遭遇している今だからこそ、宗教の役割が求められており、宗教者がこの状況にどう立ち向かうかが重要になっていた。

このような時にあたり、あらためて新宗連の原点と歴史をふりかえるとともに、「信教の自由を守ろう」「信仰心を広めよう」「宗教協力を進めよう」「世界の平和に貢献しよう」という4つのスローガンの意義をかみしめ、新宗連に参画する一人ひとりが自覚、実践した。そして新宗連の礎を築き、善導に尽力した先師先達の意味を継ぎ、『定款』に掲げる「目的」「事業」の遂行に務めた。

※以下、各協議会役職者が、包括総支部主催の総務会、学習会等に参加したことに関する協議会活動報告は記載を省略(各総支部共通)

II. 会議及び総支部活動

○副会長・事務局長会議

(10月7日/3人、令和4年2月17日/2人 松緑神道大和山苫小牧道場)

内容：コロナ禍における今後の総支部活動などについて意見交換、第31期第6回理事会及び総支部事務局長連絡会の報告

III. 協議会活動

<旭川地区協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<渡島・桧山地区協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<オホーツク地区協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<釧路地区協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<道央地区協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<十勝地区協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<日胆地区協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

奥羽総支部 事業報告書

I. 事業方針 (※各総支部共通)

II. 会議及び総支部活動

○総務会(11月9日/15人 書類にて実施)

○会長・事務局長会議(令和4年2月9日/2人 オンライン)

内容：令和4年度の活動について

III. 協議会活動

<青森県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<秋田県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<岩手県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

東北総支部 事業報告書

I. 事業方針 (※各総支部共通)

II. 会議及び総支部活動

○総務会 (4月14日/19人、10月13日/22人 オンライン)

○役職者会 (9月3日/3人 オンライン)

III. 協議会活動

<福島県協議会>

○「第10回東日本大震災物故者慰霊洋上供養会—復興への祈り—」に参加
(7月11日/8人 いわき市江名港)

○福島県宗教団体連絡協議会講演会への参加 (令和4年3月9日/5人 オンライン)
テーマ:『ひとりにしないという支援』—コロナ禍が考える・私たちにできること—
講師:奥田知志/認定NPO法人抱樸理事長・東八幡キリスト教会牧師

<宮城県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<山形県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

北関東総支部 事業報告書

I. 事業方針 (※各総支部共通)

II. 会議及び総支部活動

○総務会 (11月26日/12人、令和4年3月31日/12人 オンライン)

III. 協議会活動

<茨城県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<群馬県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<栃木県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<長野県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<新潟県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

首都圏総支部 事業報告書

I. 事業方針 (※各総支部共通)

II. 会議及び総支部活動

○総務会 (4月5日/19人、10月30日/22人 オンライン)

○正副会長・事務局長会議

(4月14日、8月19日、10月13日、12月8日/各4人 オンライン)

- 首都圏総支部総会・学習会打ち合わせ（8月4日／4人 オンライン）
内 容：千葉県協議会が本年度の首都圏総支部総会受け入れにあたり千葉県協議会担当者と総支部事務局で学習会の運営や案内について打ち合わせを行った。
※以下同総会・学習会打ち合わせ参加に関する協議会報告は省略。
- 教化活動懇談会（4月5日／19人、7月29日／20人 オンライン）
発表者：藤原 博／解脱会内務局長（4月5日）
鈴木裕治／妙智會教団理事（7月29日）
内 容：解脱会や妙智會教団の教義や歴史を学び相互理解を深めた。
※以下同懇談会参加に関する協議会報告は省略。
- 第56回「戦争犠牲者慰霊並びに平和祈願式典（8.14式典）」への参列
（8月14日／1人 千鳥ヶ淵戦没者墓苑）
- 総会・学習会（10月30日／80人 オンライン ※千葉県協議会受け入れ）
テーマ：「閉塞感を打ち破る！～笑い（ダジャレ）でコミュニケーション～」
講 師：川堀泰史／ビジネスユーモア研究家
内 容：閉塞感あふれる現代社会における「笑い」を用いたコミュニケーションの在り方について学んだ。
※以下同総会・学習会参加に関する協議会報告は省略。

Ⅲ. 協議会活動

<神奈川県協議会>

- 委員会（5月9日、9月26日、11月7日、令和4年1月23日、3月13日／各14人 オンライン）
- 神奈川県協議会結成40周年記念行事 実行委員会
（6月6日／9人、7月4日／8人、8月7日／8人、10月10日／10人、
11月27日／11人、令和4年1月16日／10人 オンライン）
- 神奈川県協議会結成40周年記念行事実行委員会 事務局会議
（8月3日／3人、9月8日／4人、令和4年1月12日／4人 オンライン）
- 「神奈川県協議会結成40周年記念フォーラム～コロナ下における宗教者の役割と実践を語る～」（令和4年2月27日／62人 オンライン）

<埼玉県協議会>

- 常任委員会（令和4年2月15日～3月15日／12人 書面にて実施）
内 容：令和4年度首都圏総支部総会・学習会について
- 議長・事務局長打ち合わせ（令和4年3月18日、3月27日／2人 電話）
内 容：令和4年度首都圏総支部総会・学習会について

<千葉県協議会>

- 正副議長・事務局会議（4月25日／5人 オンライン）
内 容：①総支部総務会の報告[事務局]、②令和3年度の活動の在り方について
③総支部総務会・学習会の受け入れについて
- 委員会（6月5日、7月25日、10月3日、11月23日／各7人 オンライン）
内 容：①総支部総務会の報告、②令和3年度の活動の在り方について、
③総支部総会・学習会の受け入れについて、④総支部学習会について、
⑤総支部学習会受け入れについて、⑦総支部学習会のふり返り など

<東京都協議会>

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<山梨県協議会>

- 委員会（11月4日／7人 オンライン）
内 容：令和3年度上半期活動報告、理事会報告、令和4年度事業計画、令和4年度事業計画確認

北陸総支部 事業報告書

I. 事業方針（※各総支部共通）

II. 会議及び総支部活動

- 総支部協議会事務局長会議（令和4年3月3日／4人 オンライン）

※以下、各協議会事務局長の参加に関する協議会報告は記載を省略

III. 協議会活動

<石川県協議会>

- 石川県宗教連盟活動への参加

- ・正副理事長会議（4月13日、10月29日／各5人 立正佼成会金沢教会）
- ・臨時正副理事長会議・懇談会（11月29日／5人）
- ・教誨師推薦委員会（令和4年2月 書面にて実施）

- 委員会（7月30日、9月13日／各5人 立正佼成会金沢教会）

内 容：県宗連の今後の在り方、県宗連正副理事長会議及び理事会議について

<富山県協議会>

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<福井県協議会>

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

中部総支部 事業報告書

I. 事業方針（※各総支部共通）

II. 会議及び総支部活動

- 情報交換会（5月18日／14人、7月14日／15人 オンライン）

内 容：理事会報告、全国総支部会議報告、青年会中部連盟活動報告、情報交換、今後の活動方針について ※以下情報交換会参加に関する協議会報告は省略

- 総務会（11月12日、令和4年3月11日／各16人 オンライン）

内 容：理事会報告、中部連盟活動報告、情報交換、今後の活動の方向性について

III. 協議会活動

<愛知県協議会>

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<岐阜県協議会>

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<静岡県協議会>

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<三重県協議会>

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

近畿総支部 事業報告書

I. 事業方針（※各総支部共通）

II. 会議及び総支部活動

- 正副会長・事務局長会議

（11月4日／3人 オンライン、令和4年3月7日／3人 新宗連大阪事務所）

- 第31期第2回総務会（11月26日／13人 オンライン）

III. 協議会活動

<大阪府協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<京都府協議会>

○京都府宗教連盟の活動への参加

・常任委員会（5月10日／4人 立正佼成会京都普門館）

・委員会総会（7月7日／6人 立正佼成会京都普門館）

内 容：松緑神道大和山の教団紹介を行った。

・深草墓苑慰霊祭への参加

（9月11日／4人、令和4年3月19日／3人 京都市深草墓苑）

○近畿宗教連盟の活動への参加

・常任委員会（7月7日／4人 立正佼成会京都普門館）

○通信学習会（11月／6人）

テーマ：「コロナ禍での信仰生活」

内 容：個人的意見を原稿用紙2枚程度にまとめて提出。

<滋賀県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<奈良県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<兵庫県協議会>

○宗務行政功労者感謝状贈呈式打ち合わせへの参加（10月11日）

○宗務行政功労者感謝状贈呈式への参加（11月10日／3人）

内 容：県協議会の井上正人／大慧會教団、清水朝世／円応教、一二三雄司／立正佼成会の3人に知事より感謝状が贈られた。

○兵庫県宗教者連盟叡智の会事務局会議への参加（11月30日）

<和歌山県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

中国総支部 事業報告書

I. 事業方針（※各総支部共通）

II. 会議及び総支部活動

○総務会（4月19日、10月22日、令和4年2月）

新型コロナウイルス感染防止対策のため書面にて実施

○戦争犠牲者慰霊並びに平和祈願式典（8月14日 オンライン参列）

○事務局長連絡会（令和4年2月）

新型コロナウイルス感染防止対策のため書面にて実施

III. 協議会活動

<岡山県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<島根県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<鳥取県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<広島県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<山口県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

四国総支部 事業報告書

I. 事業方針（※各総支部共通）

II. 会議及び総支部活動

- 総務会（4月16日／13人、11月5日／11人 オンライン）
- 事務局長連絡会議（10月19日、令和4年3月12日／各4人 オンライン）

III. 協議会活動

- <愛媛県協議会>
 - 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛
- <香川県協議会>
 - 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛
- <高知県協議会>
 - 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛
- <徳島県協議会>
 - 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

九州総支部 事業報告書

I. 事業方針（※各総支部共通）

II. 会議及び総支部活動

- 総務会（4月9日／23人、7月5日／21人、11月8日／21人 オンライン）
内 容：理事会報告、結成70周年事業、今後の活動確認、8.14式典、青年会活動
- 企画委員会（6月22日／11人、10月25日、／11人、12月9日／9人、
令和4年3月8日／10人 オンライン）
内 容：理事会報告、結成70周年事業、今後の活動確認、青年会活動など

III. 協議会活動

- <大分県協議会>
 - 役職者会（12月16日／7人 外部会場）
内 容：新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動を自粛したが、役職者でこれからの活動について会議を行った。
- <沖縄県協議会>
 - 沖縄宗教者の会定例会への参加（6月25日 立正佼成会沖縄教会）
内 容：第30回祈りと平和の集いについて
 - 第30回祈りと平和の集いへの参列（8月15日 沖縄平和祈念堂）
- <鹿児島県協議会>
 - 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛
- <北九州地区協議会>
 - 委員会（4月19日、7月13日、11月13日、令和4年3月17日／各3人 オンライン）
内 容：総務会報告、令和3年度活動計画、来年度の計画・予定、近況報告など
- <熊本県協議会>
 - 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛
- <佐賀県協議会>
 - 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛
- <筑後地区協議会>
 - 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛
- <筑豊地区協議会>
 - 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<長崎県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<福岡地区協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<宮崎県協議会>

○第 16 回「水と緑の森林づくり」県民ボランティアの集いへの参加

(11月3日/20人 サンマリーナ宮崎多目的広場/宮崎市新別府町)

内 容：記念式典、森林づくり

以 上